

# ぬくもり

2026年6月15日(月)

8年学年主任責任編集発行

## さ さ う ん ど う か い 支えられた運動会

運動会が終わりました。実行委員は、団のために、優勝のために、本当によく頑張ってくれたと思います。また、協力して取り組んだ8年生の頑張りもうれしかったです。ただ、振り返って考えると、みんなが頑張った運動会であると同時に、みんなが支えられた運動会でもあったと感じました。もちろん、団の最年長者として後輩たちを引っ張ってくれたと思いますが、それと同時に応援にしても、競技にしても、8年生を支えてくれた後輩たちの存在はとても大きかったのではないのでしょうか？また、運動会の成功のために必死に取り組んでいた9年生や、団が違うのにもかかわらず自分たちを応援してくれた他の団のみんなもなくてはならない存在でした。いろいろな人たちに支えられることによって、勝っても負けても充実感に満ちた運動会になったのではないかと思います。では、なぜこれだけの人たちが支えてくれたのでしょうか。いろいろな理由が考えられますが、その中の一つとして挙げられるのは、実行委員をはじめとするみんなが心を動かして取り組んだから。そのみんなの心の動きに気づき、感じた人たちの心を動かしたからではないかと思います。この心の動きはそれぞれの成長です。運動会を乗り越えた8年生みんなのこれからに期待しています。

さて、運動会の中でみんなにバトンは託されました。9年生のソーラン節で、9年生の魂・志を感じることができたのではないのでしょうか。何か月もの間、あの4分ほどのために9年生全員で、苦悩・苦勞しながら、一致団結して取り組んできました。先生は彼らのこの2年間の成長がとてもうれしかったです。次はみんなの番です。昨年の9年生が作り上げ、今年の9年生が引き継ぎ、進化させたもの



のを途絶えさせてはいけません。まだ、運動会が終わったばかりなのにと感じるかもしれませんが、今年の終わりは来年へのスタートです。実際に具体的なソーラン節を作り上げていくのは、まだ少し先の話ですが、それまでにどんな集団になり、どんなみんなでいなければならないのか。今からできることはたくさんあります。素直で、仲間を大切に、常に考え続けることができる、あったかい学年になって、先輩にも負けないみんなの魂・志を来年、形にしてほしいと思います。そのために、日々できることを少しずつ、ぼちぼちやっていきましょう!!

素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!